

学校 教育 目標	教育目標「互いに見つめ、気づき、やりとげる 相武山の光の子」 教育理念「まちのみんな ひとつになあれ」			
	【知】	基礎・基本を身につけ、課題を追求し、解決できる子を育てます	【徳】	自分のよさや友達のよさに気づき、人を思いやる子を育てます
	【体】	心と体をきたえ、心身ともにたくましく生きる子を育てます	【公】	人や自然、まちとのかかわりを大切にすることを育てます
	【開】	学びを生かして自分の夢を育て、進んで取り組む子を育てます		
学校 概要	創立 47 周年	学校長 後藤 直樹	副校長 魚住 晋子	2 学期制 一般学級：18 個別支援学級：4
	児童生徒数：	521 人	主な関係校：	東永谷中学校 下永谷小学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	東永谷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<コミュニケーションを大切にしたい問題解決能力> ◇よりよい社会の実現を目指す態度 ◇協働的に解決策を見だし実行する能力 ◇伝え合うことで集団の考えを発展させる力	東永谷中学校 相武山小学校 下永谷小学校	コミュニケーションを大切に、協働して問題解決を行なう子ども ・進んであいさつする子、時間を守る子、人の話を聞く子を育てることを基本とする。 ・児童生徒一人一人が安心して話し合える授業をめざし授業改善を行う。 ・ブロック合同で研修を行うなど、人権教育を推進する。 ・行事や小中交流、情報交換など児童生徒や職員の交流を通して相互理解を深める。

中期 取組 目標	○教育理念・学校教育目標の実現に向けて、人権尊重の精神を基盤とし、子どもたちが安心して心豊かに過ごせる温かい学校づくりをします ・どの子も参加できていると感じることのできる「自分ごととして課題を把握する」「すすんで自力解決する」「友達と協働して学びを深める」授業づくりをします。 ・全ての子が安心して通える、自分が大切にされていると感じられる学びの環境づくりを行います。 ・家庭や地域、幼保中高、関係機関と連携し、社会の信頼に応える、「まち」の中で子ども育てを進めます。 ・全職員が主体的に参加し、互いに学び続ける学校運営・組織体制づくりを行います。
----------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①課題の明確化を図り、自らの学習を生かして次の学習に向かうことができるように振り返りを大切にしたい授業づくりを行い、問題解決する力を育てる。②協働して問題解決できるように、意見を安心して聞き合ったり話し合ったりする力を育てる。
担当	教務部	
徳	豊かな心	①人権意識をベースにした学級経営を行う。「安心集会」や「なかよし活動」で他学級や異年齢が関わる機会を充実させる。②「さぶやまスタンダード」を充実させ、児童指導上の課題について未然防止につながる風土づくりに努める。
担当	人権・児童指導部	
体	健やかな体	①様々な機会を通して自分の体について知り、健康管理できるよう、家庭と連携しながら生活習慣を整えられるようにする。②体を動かして遊ぶことを推奨し、体育や集会などを通して、運動に慣れ親しみ体力の向上を図る。
担当	健康教育部	
公開	自分づくり教育	①地域「まち」で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、「ボラネット」の力を借りながら、他者との関わりの中で自己有用感を高めていく。②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
担当	教務部・キャリア教育	
いじめへの対応		①人権意識をベースとした児童理解や学年・学級経営を行い、いじめの起こりにくい風土づくりに力を入れる。情報を共有しながら組織的に対応する。②学校・家庭・地域が共同して取り組む。いじめ防止の指導や取組、人間関係づくりや教育相談の研修を行い、職員の意識や指導力の向上を図る。
担当	人権・児童指導部	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①メンターチームを組織し、市のリーダー研やマネジメント研の教員がリーダーとなり、ニーズに応じた研修を年間を通して行う。②グループウェアや電子システムなどを活用し効率化・簡便化を図る。③会議の仕方を工夫し時間短縮と効率化を図る。
担当	教務部・メンターチーム	
ユニバーサルな 教育環境づくり		①研修や児童理解の時間を設定し、職員全体で子どもの見取りと対応を行い、子どもに寄り添った学習を目指す。②必要な児童の個別支援計画・個別指導計画を作成し、指導、支援に活用する。
担当	人権・児童指導部	
安全教育		①登校班会議を通して、登下校の安全を自分ごととしてとらえ、安全意識を高める。②年間を通して段階的に避難訓練を実施し、「自分の身は自分で守る」という意識を育てる。総合防災訓練では幼保小での連携により、地域としての防災意識を高める。
担当	防災・防犯部	
重点研究		①道徳の授業を通して「望ましいあり方を求め、生き方を高め合う子どもの育成」を目指していく。②温かな人間関係を基盤とした学級経営の中で、子どもたちが安心して自身の考えを創り上げていくことができる環境を整える。
担当	重点研究推進部	
学校運営協議会		①学校地域コーディネーターを中心とした「さぶやまボラネット」に学校での安全や学習や環境整備などの支援をお願いし、教育活動の充実を図る。②第三者からの客観的なご意見を生かしながら、柔軟な姿勢で学校教育目標の具現化に取り組む。
担当	教務部	